

**歴史文化・健康づくり拠点整備事業
基本計画
【概要版】**

平成 24 年度

沖 縄 県 座 間 味 村
株式会社高松伸建築設計事務所



1. はじめに

歴史文化・健康づくり拠点整備事業の位置付け

座間味村（以下、本村）では、平成24年度4月に策定された座間味村第4次総合計画に基づき、豊かな地域資源が永遠にまもられ、人と自然環境が共生する『楽園』という将来像に向かって各種施策事業を展開しています。そして、村民が住み心地のいい村、観光客がまた訪れたい村づくりを本村の目標に掲げ、沖縄振興一括交付金を活用し、現在本村が抱える教育・文化、福祉、観光振興、農水産業振興、定住条件整備、環境保全等における課題解決を図ります。

歴史文化・健康づくり拠点整備事業（以下、本整備事業）は、現在この一括交付金事業の一つとして推進されており、座間味港緑地公園、阿嘉・慶留間島における、歴史文化の発信と健康づくりの拠点となる施設等の検討及び既存施設の補充強化を図ることによって、村民と観光客が共に利用できる文化施設やスポーツ施設を集約した拠点を整備することを目的としています。また、本整備事業は、本村の主産業である観光業の振興は勿論のこと、上記に掲げる教育・文化、福祉、農水産業振興、定住条件整備、環境保全等の課題解決に向けた各事業との密接な連携や調整を図ることを視野に入れており、これらの事業の中核に位置付けられます。

このような本整備事業の位置付けから、この歴史文化・健康づくり拠点整備事業 基本計画（以下、本書）では、本整備事業をZAMAMI LIFE PROJECTと名付け、本村の現況を正確に把握した上で、本村における新しいライフスタイルを支える拠点を構想し、その実施に向けた整備年次計画の策定を行ないます。

2. 現況調査

調査の目的

本整備事業の基本計画を策定するにあたり、本村及び本整備事業計画地（以下、事業計画地）の現況調査（以下、本調査）を行ないます。本調査は、本村の現況と特性を正確に把握し、本村が抱える課題等を明らかにすることによって、それらを今後の事業推進にどのように活かしていくかを検証すると共に、本整備事業の活用可能性を提示することを目的としています。

調査対象

調査対象は、本村全域としますが、本整備事業では、座間味島の座間味港緑地公園と、阿嘉島の前浜の東端（以下、前浜）を事業計画地としているため、この事業計画地を重点的に調査します。

調査結果のまとめ

本整備事業における事業計画地の一つ、座間味港緑地公園は、港内にあるという好立地にも関わらず、保守・維持管理の停滞による供給の不足と、それに伴う利用者の需要の低迷の繰り返しによる悪循環のただ中にあると言えます。また、もう一つの事業計画地である前浜は、好立地であることを活かした、観光資源としての価値創造のポテンシャルを秘めていると言えます。

地域の特性とこれからの課題

本整備事業における、調査対象の特性とこれからの課題は、以下の4点に収められます。

- ① 島1村の新たな魅力の創造
- ② 自然環境の保全
- ③ 保健、医療、福祉、介護サービスの向上
- ④ レジリエントな社会の構築

歴史文化・健康づくり拠点整備事業の活用

本調査によって明らかとなった、本村の地域的特性とこれからの課題に対して、本整備事業は、本村によって推進される各事業の中核として位置付けられることから、それらとの連携や調整を前提として、計画・実施される必要があります。各事業における本整備事業の活用可能性を視野に入れ、本事業を推進していきます。

歴史文化・健康づくり拠点整備事業の基本計画の策定に向けて

本調査によって、本村の特性とこれからの課題と、本整備事業の活用可能性が多岐に亘っていることが明らかとなりました。

これらの課題と可能性を踏まえ、本整備事業の事業計画の策定を行ない、本村の新しい魅力を創造していきます。



3. 事業計画

計画の理念

本整備事業の基本計画は、**村民が住み心地のいい村、観光客がまた訪れたい村**をテーマに、座間味島の**座間味港緑地公園**と阿嘉島の**前浜**を事業計画地として、歴史文化・健康づくり振興施設、観光振興施設等を、包括的な視点に基づいて、継続的かつ有機的に整備するための指針です。

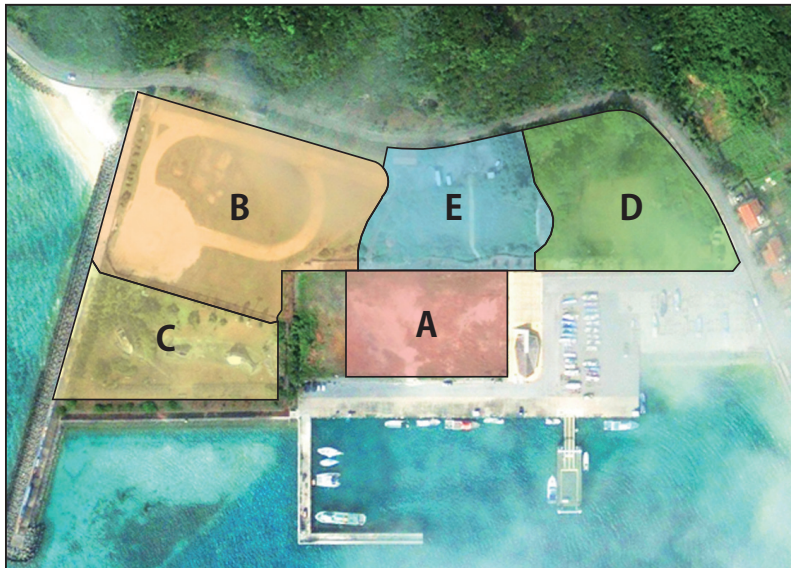
本整備事業は、本村における**新しいライフスタイルを支える拠点**整備事業の策定を行ない、その全ての活動の拠点となる多機能施設 **ZAMAMI LIFE STATION** を核として、本村が推進する各事業に対する相乗効果・波及効果を発揮することを目的としています。

本整備事業を、ここに **ZAMAMI LIFE PROJECT** と命名します。

ゾーニングの策定

本整備事業は、沖縄振興一括交付金の活用事業の一つであり、単年度当たり約3億円の事業費の活用が見込まれます。従って、最大40,000㎡を超える広範な事業計画地の整備は、複数年度に亘って実施される必要があるため、現況調査に基づいて、事業計画地を以下の**7つのゾーン**に区分します。

①Aゾーン	座間味港緑地公園（ZAMAMI LIFE STATION 計画地）	約 3,820㎡
②Bゾーン	座間味港緑地公園（多目的グラウンド）	約 9,630㎡
③Cゾーン	座間味港緑地公園（ビーチバレーコート）	約 4,840㎡
④Dゾーン	座間味港緑地公園（テニスコート）	約 5,640㎡
⑤Eゾーン	座間味港緑地公園（駐車場）	約 4,700㎡
⑥Fゾーン	阿嘉島・前浜（ビーチバレーコート）	約 460㎡
⑦Gゾーン	阿嘉島・前浜（旧切符販売所施設）	約 550㎡



グラウンド・プログラムの策定

ZAMAMI LIFE PROJECT は、本整備事業そのものであると共に、本村が掲げる**豊かな地域資源が永遠にまもられ、人と自然環境が共生する『楽園』**という将来像の具体化へ向けた、**将来的な拡張性を持った中長期的な整備事業**と位置付けられます。そこで、本整備事業のプログラムの策定に先駆けて、以下のように、この中長期的な整備事業としての **ZAMAMI LIFE PROJECT** のグラウンド・プログラムの策定を行ないます。

- ・座間味ナレッジストレージ ZAMAMI KNOWLEDGE STORAGE
- ・座間味平和祈念碑 ZAMAMI MEMORIAL ARCH
- ・ナチュラルヴィレッジ座間味 NATURAL VILLAGE ZAMAMI
- ・座間味エコラトリウム ZAMAMI ECOLATRIUM
- ・チャイルダスロン CHILD-ATHLON
- ・座間味フィールズ ZAMAMI FIELDS
- ・阿嘉フィールズ AKA FIELDS
- ・座間味観光ゲート ZAMAMI SIGHTSEEING GATE
- ・座間味セラピューティックアイランド ZAMAMI THERAPEUTIC ISLAND
- ・座間味ビーチロード ZAMAMI BEACH ROAD
- ・座間味ライフステーション ZAMAMI LIFE STATION

歴史文化・健康づくり拠点整備事業・事業計画地におけるプログラムの策定

グラウンド・プログラムに基づき本事業計画地の各ゾーン毎に **ZAMAMI LIFE PROJECT** のプログラムの策定を行ないます。

・ A ゾーン

A ゾーンは、本村の顔となるゾーンであることから、**ZAMAMI LIFE STATION** を計画します。外構及び隣接する海水淡水化施設周辺は、緑化に努め、本村の将来像**豊かな地域資源が永遠にまもられ、人と自然環境が共生する『楽園』**を表象します。

・ B ゾーン

B ゾーンは、既設の**グラウンド**の再整備を行ない、**ZAMAMI FIELDS** のグラウンドとして位置付けます。土の巻き上げや、雑草の繁殖を抑制する**クレイ舗装**の採用を検討し、維持管理の容易な**人工芝**を部分的に敷設します。また、海へのロストボール対策として、**防球ネット**を設置します。野球のフィールドの横には、**屋根付のベンチ**を設置し、夏の厳しい日差しから、選手と観客を守ります。

・ C ゾーン

C ゾーンは、既に既設の遊具の撤去を行ない、**ビーチバレーコート**の整備を行なっています。これを、**ZAMAMI FIELDS** のビーチバレーコートとして位置付けます。**全天候型観覧席**を設置することによって、夏の厳しい日差しの下でもイベント開催が可能となります。**駐輪場**を設け、子ども達が訪れやすい環境を作ります。

・ D ゾーン

D ゾーンは、既設の**テニスコート**の再整備を行ない、**ZAMAMI FIELDS** のテニスコートとして位置付けます。コートには、全面に**人工芝**を敷設します。**全天候型観覧席**を設置することによって夏の厳しい日差しの下でもイベント開催が可能となります。**駐輪場**を設置し、子ども達にも訪れやすい環境を作ります。

・ E ゾーン

E ゾーンは、既設の**駐車場**の再整備を行ないます。将来的な利用者の増加を想定して、**収容台数**を拡充します。

・ F ゾーン

F ゾーンは、**ビーチバレーコート**の整備を行ない、これを **AKA FIELDS** のビーチバレーコートとして位置付けます。**全天候型観覧席**を設置することによって、夏の厳しい日差しの下でもイベント開催が可能となります。

・ G ゾーン

G ゾーンは、阿嘉島の顔となるゾーンであることから、**ZAMAMI THERAPEUTIC CENTER** を計画します。飲食施設、**AKA FIELDS** のトイレ・更衣室を併設し、イベント開催時の休憩施設としても利用可能です。
このような各ゾーン毎の **ZAMAMI LIFE PROJECT** のプログラムに基づいて、本整備事業のイメージを作成します。

全体配置図



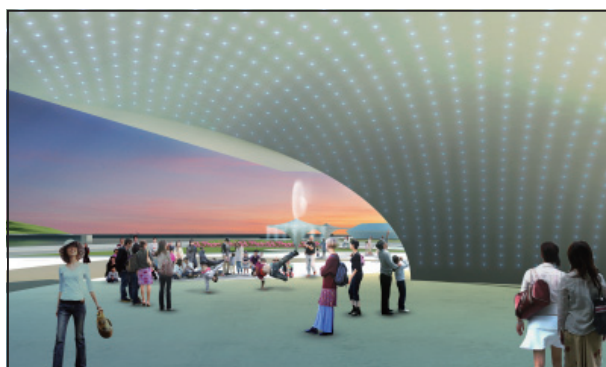
ZAMAMI LIFE STATION

ZAMAMI LIFE PROJECT の全ての活動の拠点となる **ZAMAMI LIFE STATION**。

海の生態系を支える**サンゴ (CORAL)** のように、
座間味村の人々の生活を支え、観光客を迎え入れる**門 (GATE)** となる
この建築を **CORAL GATE** と名付けます。

本書では、**より多目的な仕様が可能な A 案**（以下、**scA**）と、**より歴史・文化資料館としての機能に特化した B 案**（以下、**scB**）の 2 案を検討します。

完成予想図 (scA)



完成予想図 (scB)



施設概要図 (sCA)

	ピロティエリア
	共用エリア
	展示エリア
	動線エリア
	管理エリア
	保管エリア
	ユーティリティエリア
	設備エリア

コーラル・バリアウォール

- ・サンゴのようなバンチングウィンドウの集合によって強い日差しからユニバーサルスペースを保護。
- ・台風時の飛来物によるガラス破損を最小限に抑える分散配置窓。
- ・コンクリート躯体に塩害に強い防食塗料を塗布。(例：セラムコート)

座間味ナレッジストレージ

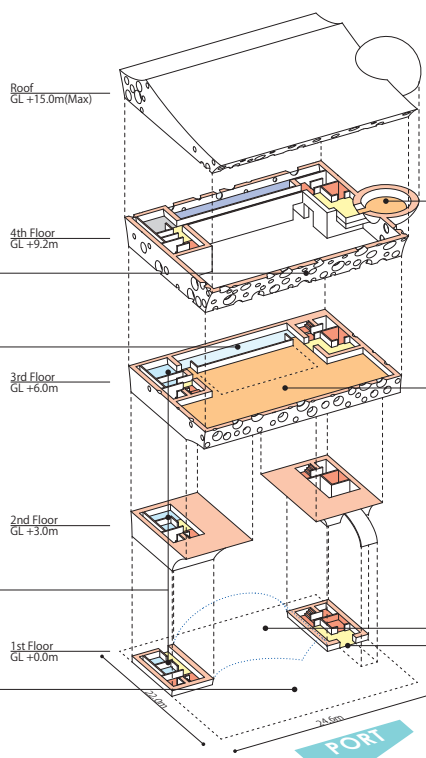
- ・津波・高潮発生時に所蔵品を守るために高所に設置。

ユーティリティスペース

- ・トイレ、更衣室等を集約して設置。
- ・バリアフリー対応のトイレ。
- ・1、2階は運動付帯施設として誰もが利用可能。

コーラル・プラザ

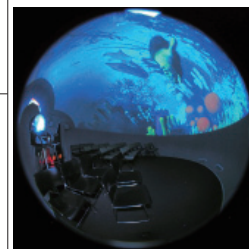
- ・雨天時にも利用可能な全天候型広場。
- ・CHILD-ATHLONのスタート・ウォーミングアップスペース。
- ・伝統行事「海神祭」の際のイベントスペース。
- ・「流れ舟」の際の観覧席。
- ・広大な日陰の提供。



建築面積：約 498.3 m² 約 150.7 坪
延床面積：約 686.5 m² 約 207.7 坪

パールシアター

- ・座間味村の歴史や海の生態を立体的に体験出来るドームシアター。



ユニバーサルスペース

- ・可動パーティションによって多様な使用目的にフレキシブルに対応。

- ・資料展示
- ・ギャラリー
- ・災害時緊急避難スペース (約 150 人避難可能)
- ・ビーチバレー・トレーニングセンター
- ・CHILD-ATHLON センター
- ・子どもエコ体験
- ・合宿施設 …等

座間味メモリアルアーチ

- ・沖縄戦犠牲者 1,220 人を悼む 1,220 個の LED を設置。

エントランスホール

- ・バリアフリー対応の EV・階段。

施設概要図 (scB)

	ピロティエリア
	共用エリア
	展示エリア
	動線エリア
	管理エリア
	保管エリア
	ユーティリティエリア
	設備エリア

コーラル・バリアウォール

- ・サンゴのようなバンチングウィンドウの集合によって強い日差しから展示スペースを保護。
- ・台風時の飛来物によるガラス破損を最小限に抑える分散配置窓。
- ・コンクリート躯体に塩害に強い防食塗料を塗布。(例：セラムコート)

座間味ナレッジストレージ

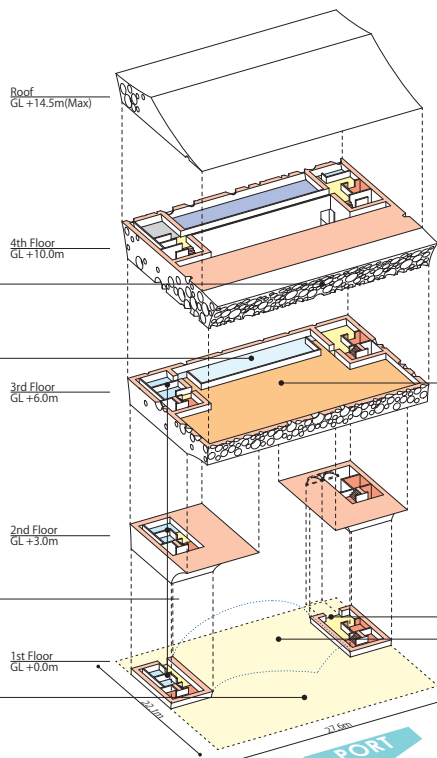
- ・津波・高潮発生時に所蔵品を守るために高所に設置。

ユーティリティスペース

- ・トイレ、更衣室等を集約して設置。
- ・バリアフリー対応のトイレ。
- ・1、2階は運動付帯施設として誰もが利用可能。

コーラル・プラザ

- ・雨天時にも利用可能な全天候型広場。
- ・CHILD-ATHLONのスタート・ウォーミングアップスペース。
- ・伝統行事「海神祭」の際のイベントスペース。
- ・「流れ舟」の際の観覧席。
- ・広大な日陰の提供。



建築面積：約 526.6 m² 約 159.3 坪
延床面積：約 759.8 m² 約 229.8 坪

展示スペース

- ・可動パーティションによって多様な使用目的にフレキシブルに対応。

- ・資料展示
- ・ギャラリー
- ・災害時緊急避難スペース (約 180 人避難可能)
- …等

エントランスホール

- ・バリアフリー対応の EV・階段。

座間味メモリアルアーチ

- ・沖縄戦犠牲者 1,220 人を悼む 1,220 個の LED を設置。

ZAMAMI THERAPEUTIC CENTER

ZAMAMI THERAPEUTIC ISLAND の全ての活動の拠点となる

ZAMAMI THERAPEUTIC CENTER。

海の生態系を支えるサンゴ (CORAL) のように、
村民と観光客の健康と美容を支える小さな家 (HOUSE) となる
この建築を CORAL HOUSE と名付けます。

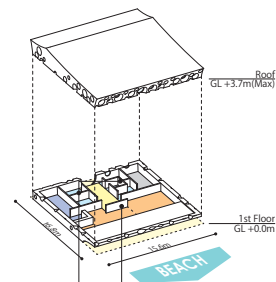
完成予想図



施設概要図

	ビロティエリア
	共用エリア
	展示エリア
	管理エリア
	ユーティリティエリア
	設備エリア

建築面積：約 243.0 m² 約 73.5 坪
延床面積：約 225.0 m² 約 68.1 坪



ミニ・ユニバーサルスペース
・可動パーティションによって多様な使用目的にフレキシブルに対応。
・レストラン
・カフェ
・エステティックサロン …等

ユーティリティスペース
・バリアフリー対応のトイレ。
・AKA FIELDS の更衣室。

施設概要図

本書では、Aゾーン～Gゾーンの7つのゾーンを、4つの工区に分けます。

・工区ⅰ：Aゾーン ・工区ⅱ：Bゾーン Eゾーン ・工区ⅲ：Cゾーン Dゾーン ・工区ⅳ：Fゾーン Gゾーン

		月数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
座間味港公園	建築工事（工区ⅰ）	設計監理	調査	設計								業者選定	施工監理																																						
		工事													工期 10 ヶ月																																				
		行政手続等	事前協議等								申請																																								
	外構工事（工区ⅱ・ⅲ）	設計監理	調査	設計Ⅰ期								業者選定Ⅰ期	施工監理Ⅰ期								設計Ⅱ期								業者選定Ⅱ期	施工監理Ⅱ期																					
		工事													工期 10 ヶ月Ⅰ期																						工期 10 ヶ月Ⅱ期														
		行政手続等	事前協議等								申請Ⅰ期											事前協議等								申請Ⅱ期																					
阿嘉島	建築・外構工事（工区ⅳ・ⅳ）	設計監理	調査	設計								業者選定	施工監理																																						
		工事													工期 10 ヶ月																																				
		行政手続等	事前協議等								申請																																								

それぞれの工区では、以下のような予算を想定しています。

・工区ⅰ：約 3 億円 ・工区ⅱ：約 3 億円 ・工区ⅲ：約 3 億円 ・工区ⅳ：約 1.5 億円

